

子どもを共に育む 未来づくり 教育フォーラム

共同
開催

第12回「地域教育フォーラム・イン京都」
第14回「人づくりフォーラム」
第4回「全国緑のカーテンフォーラム」

京都

参加費無料
要参加申込
申込締切:7/14(水)

～地域ぐるみ・社会総がかりで進める人づくり～

子どもを共に育む 未来づくり教育フォーラムin京都
～地域ぐるみ・社会総がかりで進める人づくり～

日時・会場

平成22年7月28日(水)
9:30～17:00(受付開始9:00)
国立京都国際会館他

■対象：教職員、教育関係者、研究者、
保護者、ボランティア、市民等

今年度の
分科会は、
市内各所で開催されます。
詳細については分科会のページをご覧ください。

※第一次案内では、第1分科会の会場を
「京都市教育相談総合センター」としていましたが、
「国立京都国際会館」に変更しています。

主 催

- ◆京都市小学校長会、京都市立中学校長会、京都市立総合支援学校長会、京都市立高等学校長会、京都市立幼稚園長会
- ◆人づくり21世紀委員会
京都市内の幅広い分野から104団体が集まり、「子どもたちのために、今、大人として何ができるか」を共に考え、行動するネットワークとして積極的な活動を展開している。
- ◆NPO法人 緑のカーテン応援団
平成19年にNPO法人設立。東京都板橋区における学校での実践を契機に出会った人々、企業、学校関係者などで構成。現在は、全国の地域や企業と連携し、土づくり・水やりの世話を通じて子どもたちに感動を与える「緑のカーテン」の普及と、環境教育をもとにしたまちづくり・人づくりに取り組んでいる。
- ◆京都市教育委員会

共 催

- ◆京都市 PTA 連絡協議会
284の京都市立学校・幼稚園で組織され「活力あるPTA・行動するPTA」を合言葉に、学校・家庭・地域をつなぐ架け橋として活動している。
- ◆全国緑のカーテン協議会
緑のカーテン活動を推進し、この活動を通して将来の世代にも承継できる持続可能な社会の創造に向け、「第一回全国緑のカーテンフォーラム」において沖縄県那覇市を中心に設立。

後 援

- ◆文部科学省、朝日新聞京都総局、NHK 京都放送局、エフエム京都、京都新聞社、京都放送、京都リビング新聞社、共同通信社京都支局、産経新聞京都総局、J:COM 京都みやびじょん、時事通信社京都総局、中日新聞京都支局、日本教育新聞社、日本経済新聞社京都支社、毎日新聞京都支局、読売新聞京都総局、洛西ケーブルビジョン
- ◆環境省(全国緑のカーテンフォーラムのみ)

参加申込

7月14日(水)までに「京都いつでもコール」へ別紙「参加申込書」の内容を電話(075-661-3755)、FAX(075-661-5855)、ホームページ(<http://www.city.kyoto.lg.jp/sogo/page/0000012821.html>)上の送信フォームにてお申し込みください。

※第2分科会、第3分科会、第4分科会には定員があり、参加には「受講票」が必要です。これらの分科会に参加申込をされた方に、「受講票」を送付しますので、ご持参の上、ご来場ください。(開催日5日前までに「受講票」が届かない場合は、お手数ですが、下記までお問合せください。)

※第2分科会、第3分科会、第4分科会は、定員を超えた場合は第1分科会に変更していただく場合があります。「参加申込書」はホームページ(<http://www.city.kyoto.lg.jp/kyoiku/soshiki/29-2-9-0-0.html>)にも掲載しています。どうぞ御利用ください。

保 育 室

国立京都国際会館、京都会館及び京都市総合教育センター内(京都まなびの街生き方探究館を除く)の一室で保育室(対象:1歳以上小学校2年生まで)を開設します。利用を希望される方は、7月14日(水)までに、別紙「参加申込書」の「保育室申込」欄の内容を「京都いつでもコール」へお申し込みください。

要約筆記 / 手話通訳

要約筆記や手話通訳を希望される方は、7月14日(水)までに、別紙「参加申込書」の「要約筆記 / 手話通訳申込」欄の内容を「京都いつでもコール」へお申し込みください。

昼 食

国際会館内や各会場周辺のレストラン等を御利用ください。
国際会館ロビーでお弁当(1,000円)も販売されます。(お弁当の事前申込の受付は行いません。数に限りがございます。売切れの際はご了承ください。)

交 通

地下鉄・バス等の公共交通機関を御利用ください。

会場案内図



国立京都国際会館
(京都市左京区宝ヶ池)
[京都市営地下鉄烏丸線
「国際会館(K01)」駅下車
徒歩5分]

- ① 全体会、全国緑のカーテンフォーラム、第1分科会
- ② 第2分科会
- ③ 第3分科会
- ④ 第4分科会



お問合せ先(代表)

京都市教育委員会 指導部 学校指導課
〒604-8571 京都市中京区寺町通御池上る上本能寺前町488
TEL 075-222-3851 FAX 075-231-3117

子どもたちの今と未来のため、社会のあらゆる場で
「子どもを共に育む京都市民憲章」を実践しましょう!



子どもは社会の宝です。今こそ、子どもたちの健やかな育ちに向け、学校・家庭・地域はもとより、子どもの教育や健全育成に関わる、あらゆる団体の強い連携が求められています。

本フォーラムは、「社会総がかりで進める人づくり」という理念の下、「地域の子どもは地域で育む」という京都の先人の志を受け継ぎ、一人一人が子どもを育む当事者として共に高め合い、実践の輪を広げる場として創設されました。

今年度は、全国最大規模の研究大会として開催していた「地域教育フォーラム・イン京都」と、子どもたちのために大人として何ができるかを考える「人づくりフォーラム」に加え、新たに環境教育のあり方について提言をする「全国緑のカーテンフォーラム」を共同開催することにより、教育の今日的課題についてさまざまな視点から参加者の皆様と共に考え、今後の行動につなげていきたいと考えております。

未来づくりは、教育・人づくりから

「未来は予測するものではない。未来は自らの手で創るものである。」私の大好きな言葉の一つです。
京都では、明治の初め、遷都による都市衰退の危機にあっても、「子どもさえ健やかに育めば未来は明るい」と、町衆が寄付金を出し合い、全国に先駆け、64の地域制の小学校を創設。まちの再興を成し遂げました。

今、私たちは、環境問題をはじめ、様々な困難な課題に直面しています。しかし、私は、この京都に脈々と受け継がれる伝統と精神こそ、未来を切り拓く鍵であると確信しています。
先人が示した高い志を今に！すべての大人が共通理解から共通実践へ！本フォーラムでの議論を契機に、未来を担う子どもたちのため、共々に取り組んで参りましょう。



京都市長

門川 大作

社会の宝を燦然と輝かせよう

子どもは無限の可能性を持った社会の宝です。その可能性を最大限に発揮できる環境づくりをすることが、私たち大人の使命です。

市民ぐるみ・地域ぐるみの教育を伝統とする京都において、「子どもを共に育む京都市民憲章」を礎として、家庭、地域、学校、企業等のあらゆる立場の大人が連携し、次代を担う子どもたちの健やかな成長のために、取り組まれていることを誇りに思います。

今回のフォーラムが、子どもたちが自ら学び、育つことのできる社会のあり方や私たち大人の役割について考え実践する契機となり、社会全体に行動の輪が広がることを祈念いたします。



人づくり21世紀委員会 代表

尾池 和夫

子どもたちに生きた環境教育を

『緑のカーテン』は、夏季つる性植物をバルコニーで育て、夏の直射日光を防ぎ、植物の蒸散作用により周囲の空気を冷やすことで、天然のエアコンをつくる手法です。現代の生活では、暑い日は条件反射でエアコンに手が伸びてしまいがちですが、「緑のカーテン」を育て、快適な環境を作り上げる体験は、ヒトの体感温度の仕組みや植物・土の偉大さを学び、安易にエネルギーを消費する暮らしや温暖化効果ガスへの問題意識、環境との共存について考える契機となります。私たちはこれからも「自分たちの学び舎は、自分たちで涼しくしよう！」という『緑のカーテン』を通して、子どもたちが環境に関する問題を自ら発見し、解決する力を獲得するアクション型の環境教育を提案していきます。

「未来づくり教育フォーラム in 京都」において「第四回全国緑のカーテンフォーラム」が同時開催できることとなり、多くの方に緑のカーテン教育事例の発表の場を得られることに深く感謝申し上げます。



NPO 法人緑のカーテン応援団理事長

鈴木 雄二

市民ぐるみ・社会総がかりの教育の更なる充実へ

子どもたちの健やかな育ちに向け大人一人一人が子どもたちの今と未来を見据え、行動の輪を広げることを目指して、「子どもを共に育む未来づくり教育フォーラム in 京都」を開催致します。

ジャーナリストとして現代社会の問題や青少年の生き方について警鐘を鳴らし、多方面で活躍されている江川紹子氏の講演や、教育の今日的課題をテーマにした分科会に加え、「全国緑のカーテンフォーラム」も同時開催します。

本フォーラムを通して、学校・家庭・地域はもとより、すべての大人がしっかりと連携し、私たちが子どもたちのために、今できることは何かを再確認することで、市民ぐるみ・社会総がかりの教育が更に充実していくものと確信しております。



京都市教育委員会教育長

高桑 三男

日程：7月28日(水) 9:30～17:00

9:00

▶ 受付開始

9:30

▶ 全体会（会場：国立京都国際会館）

オープニングセレモニー「吹奏楽演奏」京都市立伏見中学校吹奏楽部

主催者挨拶 高桑 三男 京都市教育委員会教育長
尾池 和夫 人づくり21世紀委員会代表
鈴木 雄二 NPO法人緑のカーテン応援団理事長
来賓挨拶 徳久 治彦 文部科学省大臣官房審議官
門川 大作 京都市長



全体会

報告 「子どもを共に育む京都市民憲章」の推進に向けて
寺石 浩隆 人づくり21世紀委員会幹事長

特別講演 「子どもたちの健やかな育ちに
～子どもたちのために、今、何ができますか～」
講師 江川 紹子氏（ジャーナリスト）

12:00

▶ 休憩（昼食）●お茶席 ●パネル展示・おもしろサイエンス教室

お茶席

子どもたちがもてなすお茶をお楽しみください。
京都市立学校では、子どもたちに伝統文化を伝えるため、地域の方々の御協力により茶道等の様々な取組を行っています。
■時間 12:00～13:30 まで 200名限定。なくなり次第終了します。
■場所 会場内 お茶席 200円（お抹茶・お菓子）
■協力 京都市地域女性連合会・京都市立葛野小学校



京都科学屋台ネットワーク “おもしろサイエンス教室”

企業・大学・施設・NPOなど112団体が加盟する京都科学屋台ネットワークによる、環境などに関する科学実験やものづくりの出前教室「科学屋台」を体験していただきます。



13:30

▶ 全国緑のカーテンフォーラム
（会場：国立京都国際会館）

16:30

▶ 第1分科会
（会場：国立京都国際会館）



分科会

14:00

▶ 第2分科会
（会場：京都会館）

17:00

▶ 第3分科会
（会場：京都まなびの街生き方探究館）
▶ 第4分科会
（会場：京都市総合教育センター）

報告集DVD紹介

平成22年度「子どもを共に育む 未来づくり教育フォーラム in 京都」のDVD(報告集)

12月下旬完成予定(10月から受付開始)

送料180円分の切手を同封の上、下記宛にお申し込みください。

【申込先】〒604-8571 京都市中京区寺町通御池上る上本能寺前町488
京都市教育委員会 学校指導課 TEL:075-222-3851

全 体 会

9:30~12:00
(会場：国立京都国際会館)

特別講演

テーマ 「子どもたちの健やかな育ちに
～子どもたちのために、今、何ができますか～」

講 師 江川 紹子氏 (ジャーナリスト)



江川紹子氏

1958年(昭和33年)東京都杉並区生まれ。早稲田大学政治経済学部卒業後、神奈川新聞社で社会部記者として勤務。1987年、同社を退職し、フリージャーナリストとなる。

オウム真理教への取材姿勢とその活動が高い評価を得、1995年に菊池寛賞受賞。その後も、報道番組のコメンテーターやコラム等の執筆を行うと共に、多くの若者へのインタビュー企画や取材活動などを通して、若者の悩みや生き方の問題に取り組む。

近著に次世代へのメッセージをこめた『勇気ってなんだろう』がある。

全国緑のカーテンフォーラム

13:30~16:30
(会場：国立京都国際会館)

産学公連携による緑のカーテン事例の検証と市民・企業協働に向けて

～市民ぐるみで進める「環境モデル都市・京都」の挑戦～

「緑のカーテン」の歴史は古く、涼を得る日射遮蔽手法として、夏の暮らしを彩り、豊かにしてきました。現在では、気温上昇の抑制、環境負荷の低減など、環境への効果に注目が集まる一方、全国の学校では、環境教育の「生きた教材」として、成果を挙げています。

当フォーラムでは、環境教育の切り口としての緑のカーテンの実践例の提示や、産学公のそれぞれの立場からの講演、意見交換・協議を通して、産学公を超えた「共有可能な方向性」を模索し、「緑のカーテン」の更なる普及促進を図ります。

■講 演 大島 仁(京都市地球環境政策監)「京都市の環境政策について」
北川容子氏(東京都板橋区教育長)
菊本るり子氏(東京都板橋区立高島第五小学校教諭)
「緑のカーテンを生活の中へ～MIDORI-繋がる輪(仮題)」
京都市立下京涉成小学校児童による合唱

■パネルディスカッション「産学公連携、市民ぐるみで進める
「環境モデル都市・京都」の挑戦」

パネリスト 蔭池季和(京都市立朱雀第七小学校校長)
長屋博久氏(有限会社村田堂取締役)
未 定(京都市環境保全活動センター(京エコロジーセンター))
上田正幸氏(NPO法人京都・雨水の会代表理事)

コーディネーター 谷田 泰氏(NPO法人緑のカーテン応援団副理事長)

■次期開催都市からの提言 鈴木康友氏(浜松市長)



菊本るり子氏

分 科 会

第1分科会

13:30~16:30
(会場：国立京都国際会館)

個を育む集団づくり 一人一人が輝き、互いに響き合う集団を目指して
～学びと生活の集団づくりの大切な視点～

子どもたち一人一人を大切にしたい学びと生活の集団づくりのあり方について、基調講演とパネルディスカッションを通して探ります。とりわけ、発達障害等の「困り」を抱えた子どもたちへの支援について、生徒指導と総合育成支援教育の双方の視点から考えます。

第一次案内では、会場を「京都市教育相談総合センター」としていましたが、「国立京都国際会館」に変更しています。

■講 演 竹田契一氏(大阪教育大学名誉教授、日本LD学会副理事長)
「子どもたち一人一人を大切にしたい集団づくり
～特別支援教育の視点から～」

■パネルディスカッション

パネリスト 品川裕香氏(教育ジャーナリスト)
藤井茂樹氏(国立特別支援教育総合研究所教育相談部総括研究員)
茶木敬子氏(京都LD等発達障害親の会「たんぽぽ」代表)

コーディネーター 菊地謙一(京都市教育委員会指導部生徒指導課首席指導主事)

講 評 竹田契一氏



竹田契一氏

第2分科会

14:00~17:00
(会場：京都会館)

家庭教育支援 今、子どもたちのためにできること
～子育て“きょうかん”都市・京都の実現に向けて～

子どもたちの今と未来を守るための市民共通の行動規範である「子どもを共に育む京都市民憲章」の理念を実践行動として広げるため、現在、「子どもを共に育む京都市民憲章推進条例制定検討委員会」を設置し、憲章を推進する条例を検討しています。その検討経過を踏まえ、参加者からも御意見をいただきながら、子どもたちのために、今、大人として何をすべきかを考えます。(定員:400名)

■報 告 京都市教育委員会 生涯学習部

■パネルディスカッション

パネリスト 升光泰雄氏(京都市私立幼稚園協会会長)
水野篤夫氏((財)京都市ユースサービス協会事業部長)
大畑真知子(京都市立藤城小学校校長)
寺石浩隆(人づくり21世紀委員会幹事長)

講評 藤原勝紀(京都市教育委員会教育委員長、
元京都市子どものための市民憲章懇話会会長)

■意見交流(参加者を交えて)



藤原勝紀



第3分科会

14:00~17:00
(会場：京都まなびの街生き方探究館)

生き方探究教育 自分の生き方をみつけ、生きる力をつける教育
～プロフェッショナルの生き方を学ぶ～

生きることは働くこと、今、社会で働いている人はプロフェッショナルとして仕事を持っていると言えます。一流シェフ、オリンピックメダリスト、藍染職人、元宝塚歌劇団員など様々な分野のプロフェッショナルに集まっていたいただき、その道のプロとしての誇りや現在の職業で自己実現を図るまでのストーリーを語ってもらうことにより、未来を生きる子どもたちに私たちがどのように関わっていけばよいのかを探究します。(定員:250名)

■講演・パネルディスカッション

パネリスト 和田康則氏(イタリアンレストラン ストラダシェフ)
田本博子氏(シドニーオリンピックソフトボール女子代表)
炭田敏良氏(阿波天然灰汁醗酵建藍染作家 (有)あいあい代表取締役)
千葉吉美氏(元宝塚歌劇団花組・舞台女優)

コーディネーター 松 本 高 宜(京都市教育委員会京都まなびの街生き方探究館 指導主事)



和田康則氏



田本博子氏



炭田敏良氏



千葉吉美氏



第4分科会

14:00~17:00
(会場：京都市総合教育センター)

小中一貫教育 小中一貫で進める開かれた学校づくり
～小中一貫による学校評価や学校運営協議会、学力向上の取組等に向けて～

本市では、家庭や地域と情報、課題、目標などを共有しながら、それぞれの学校や地域の特色を生かした取組を進め、義務教育9年間の「学び」と「育ち」を一層充実させる効果的な小中一貫教育の実践を積み重ねてきました。小中一貫による開かれた学校づくりのさらなる推進に向け、小中9年間で育てたい子ども像の共有の視点を踏まえた今後の学校評価や学校運営協議会の方向性、学力向上の取組等を考えます。(定員:500名)

■報 告 京都市教育委員会 学校指導課

■講 演 「開かれた学校づくりと学校評価
～“クリティカルフレンド”との協働を目指して～」
植田みどり氏(国立教育政策研究所
教育政策・評価研究部 主任研究官)

■実践発表等

京都嵯峨学園(京都市立嵯峨中学校、嵯峨小学校、
嵐山小学校、広沢小学校)



植田みどり氏

